

第1回 神戸淡路鳴門等周遊観光ワークショップ

議事概要

テーマ1：地域ならではの観光資源、交流体験等を活かした観光コンテンツの開発、広域周遊活性化

(1) 淡路島におけるインバウンドの嗜好にも着目した観光コンテンツ化、広域周遊ルートの形成

○観光コンテンツについて

- ・ 淡路島だけでなく神戸・四国ともセットにしながら、歴史・ガストロノミーをテーマにしたツアーを造成できるのではないか。[徳重構成員]
- ・ 淡路島3年とらふぐについては、インバウンドの方にも受けるメニューではないか。ふぐの部位を説明してあげたり、ふぐを触って撮影できると話題にもなり良いだろう。[岩井構成員]

○二次交通について

- ・ 淡路島の旅行にあたっては車移動が必要だが、レンタカーで移動される方は少なく、路線バスを活用してもらう必要がある。北淡路のバス乗り放題きっぷは、本年10月より販売を始めたところである。バスの乗り継ぎも現状は難しく、モデルコースの情報発信も進めている。[小松崎構成員]
- ・ 観光の目的地名とバス停名の一致は、観光客に安心感を与える。また、便利なパスポートやルートを新たに造成した際は、海外の旅行会社に情報発信すべきである。[千葉サブコーディネーター]
- ・ 一昨年よりUberを導入したものの、二次交通は未だ脆弱である。[淡路県民局 吉野構成員]
- ・ 二次交通が脆弱でも来て頂けるような、インパクトのあるコンテンツを作っていきたい。[淡路島観光協会 土居構成員]

(2) 四国・神戸等との広域周遊ルートの可能性

- ・ 暮らしに根ざしながら発展してきた神戸・淡路・四国の食文化を、ガストロノミーツアーとして巡っていくのは、非常に魅力のあるコンテンツとなるのではないか。[千葉サブコーディネーター]

テーマ2：インフラツアーを活用した広域周遊活性化

(1) 神戸・兵庫の魅力を発信できる観光コンテンツについて

- ・ 六甲オルゴールミュージアムや六甲枝垂れは、東南アジアの方々に人気があり、教育旅行の行き先としても非常に適している。[六甲山観光 梁構成員]
- ・ 神戸の観光コンテンツとして、欧米豪観光客に対してはビーフ・温泉・酒以外にも、「自然」が受けるということが分かった。ラグビーW杯期間中に手ぶらでゴルフが出来るツアーを実施したが、2日前までの予約が必要な点が課題であった。ツアーの改良等は今後ゴルフ場と連携したい。[神戸観光局 市邊構成員]
- ・ 兵庫県では、「歴史・伝統・文化」「自然・景観」「スポーツ・アクティビティ」という3つのカテゴリーに、食・温泉を組み合わせた形で観光コンテンツを発信している。国・地域ごとに異なる嗜好・趣味に合わせながら紹介していきたい。[ひょうご観光本部 東尾構成員]

(2) ダムツアーほかインフラツアーについて

- ・ 水源地域の活性化は重要であり、吉野川下流域の自治体や NPO と連携しながら、体験ツアー等を継続している。ダムの見学会を開くと、多くの来訪がある。[水資源機構 松森構成員]
- ・ インバウンドに対しダムを見せるだけでは不十分で、ダムを設けた意図や治水力、安全性をアピールする必要がある。寝屋川南部地下河川の日本人向け見学会は人気を博しており、インフラツーリズムを観光コンテンツの一つとして捉えていくのは重要と考えている。[大阪観光局 砂野構成員]
- ・ 本四高速と国土交通省がダムツアーに関して協定等を結び、持続的に連携できる仕組みを作れば、民間の旅行会社によるツアー形成を促進できると考えている。[本四高速 山本常務]
- ・ 四国では水資源機構以外にも県が所有するダムがあり、協力を検討していきたい。本四高速との連携に関しても、連携する施設が国施設なら具体的な手法を今後検討していきたい。[四国地方整備局 宮武構成員]

テーマ3：魅力度の高い瀬戸内東周遊ルートの開発

○お遍路を活用したルートの開発について

- ・ お遍路のある徳島、高野山・熊野古道のある和歌山と、大阪を繋ぐ広域観光ルート「日本スピリチュアル回廊」について検討しているところである。PR の方法等を今後検討していきたい。[イーストとくしま観光推進機構 勇構成員] [四国ツーリズム創造機構 磯山構成員]
- ・ 淡路島内の東山寺は空海ゆかりの寺院であり、お遍路を回って頂いた方をご案内するのも面白いのではないかと。[岩井構成員]
- ・ サンティアゴの巡礼路では、巡礼証明書や巡礼手帳を持っていると帰りの交通料金が割引になる仕組みがある。また、スポーツ・目標達成のために歩く人も多くいる。熊野古道もトレッキングの道があることから、道をスポーツとして捉えてもらうのもあり得る。[千葉サブコーディネーター]

○徳島県と他コンテンツとの連携について

- ・ 鳴門で地元観光事業者などとともにワーキンググループを発足させ、地域コンテンツの磨き上げ、バスの運行時間短縮・本数増加といった交通手段整備、鳴門・淡路島・神戸を結ぶ「渦潮オーシャンライン」という広域ブランディングに取り組んでいる。[徳島経済研究所 荒木構成員]
- ・ 大塚国際美術館の来館者が増加してきたなかで、淡路・神戸から大塚国際美術館へのアクセス・二次交通が課題であると考えている。[大塚国際美術館 富浦構成員]
- ・ 徳島県単独での観光周遊ルートは作りにくい。関西国際空港から淡路島を経由した取り入れも含め、今後連携を進めていきたい。[徳島県 原構成員]
- ・ 徳島の祖谷は人気のエリアだが、関西国際空港から直接訪れるには移動距離が長い。淡路島で1泊し、次の日に徳島方面に向かうルートがあり得るのではないかと。[千葉サブコーディネーター]

その他

- ・ 一つのコンテンツでは検討が難しくても、広域連携により良い観光ルートを作ることが出来る。特に、海外旅行会社の視点から、低価格かつ空席率の高い空港を起点としたツアー構築が求められる。[小松崎構成員]
- ・ 現状を見ると、欧米豪のインバウンドは羽田・成田に集中している。J R 以外でも岡山・広島・松

山・徳島といった空港とセットでモデルコースを作っていくことが重要ではないか。[大阪観光局 砂野構成員]

- ・ 着地型日帰り旅行商品造成にあたっては、Klook や KKday、アソビューなどの OTA(Online Travel Agent：インターネット上で取引を行う旅行会社)の活用が重要である。[小松崎構成員]
- ・ 一つ一つのコンテンツがあるだけでは不十分で、それらを面として繋げていくことが重要である。また、ターゲットに即した商品の販売・流通、ターゲットに影響力のあるメディア・旅行会社・OTA の検討を行うべきである。[せとうち DMO 舘構成員]
- ・ 来年度も観光コンテンツ造成や環境整備の予算が編成された場合は、二次交通や多言語対応について、他組織とも連携しながら取り組んでいきたい。[四国運輸局観光部 渡真利構成員]

以 上